



住所：蕨市錦町 3-3-41
 Tel・Fax：048-442-4054
 Mail：nisi@city.warabi.saitama.jp

2～3 歳児親子の りんごちゃん学級（前期）修了式

今年度も4月より開校したりんごちゃん学級（前期）♪
 7月11日（月）は最終日でした。『みんなで楽しくお歌を歌おう』
 という内容で、先生のピアノに合わせて歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたり、楽器
 を作ってみたいと親子で音楽に親しみました。



その後の閉校式では、館長から修了証などのプレゼントがありました。

全7回のりんごちゃん学級（前期）でしたが、回を重ねる毎に子ども達も保護者も顔見知り
 になってきた様で、最終回は終始和やかに幕を閉じました♪



手作りの太鼓をポンポン
ポーン♪



みんなで輪になって踊り
ました！



6月28日に錦町の畑でじゃがいも掘りました♪

西公民館行政サービスのご案内

受付時間：平日 午前8時30分～午後5時15分

内 容	料 金
粗大ゴミ収集券	1 枚 550 円
改訂版「わらび郷土かるた」	1 冊 500 円
第二中学校夜間照明使用コイン	1 枚 1,030 円

フレイパーク ～夏休みバージョン～

無 料

日 時：11日（木） 午前10時～午後4時

会 場：富士見公園

対 象：どなたでもOK！未就学児は保護者同伴

持ち物：飲み物・着替え

主 催：外遊びを考える会「どろんこの王様」



「冒険遊び場」と知り合って・・・

外遊びを考える会「どろんこの王様」
平川 幸子

「氷のお皿でかき氷♪」

6月19日の日曜日、夕方からの居場所づくり『ぽっかぽか』と、外遊びを考える会『どろんこの王様』主催で、『ゆるるんおそとカフェ』を開催しました。6月にして真夏日に匹敵する暑さの中、フリーマーケットにゲーム屋さんや駄菓子屋さんなど、久しぶりにたくさんの方が集まり、お祭気分を楽しんでいただけたのではないかと思います。

さて、私がお手伝いしていたかき氷屋さんは暑さも手伝って子ども達に大人気。ストロベリーとブルーハワイのシロップがありました。かけ放題だったのでみんなみんな紫色に。「ピンクに青を混ぜたら何色になるかなー？」なんて親子の会話も弾みます。また、四角い氷の塊をシャリシャリ削って最後に残る平たい氷に興味を持った小学生の男の子。何度も何度も見に来てようやく手に入れた四角い氷のお皿の上に、削りたてフワフワの氷がたまたま少しのっかっかいて。「シロップちょろっとかけていいよ～」なんて声を掛けたら、満面の笑みを浮かべてくれて、こちらも幸せな気分になりました♪

今回のイベントには、学校に行ってもなかなか教室に入れない子、席に着いていたとしても授業に集中できず他のことをしている子、先生からよく注意されている子ども達も、たくさん遊びに来てくれました。学校では沈んだ顔をしていたり悪態をついたり。でも、ここではみんなに溶け込み、キラキラとした屈託のない笑顔を見せてくれました。

7月以降、新型コロナウイルス第7波が世間を賑わし、イベント開催について難しい判断が迫られるところではありますが、改めて、子ども達にとっての地域の役割について、特に学校に馴染めない子ども達にとっての居場所として、地域がどうあるべきかを考えさせられる一日となりました。



ねえねえきいて

さつき保育園
2歳児 りす組 川口 圭子

「はい!」「わん!」「きーん!!」

りす組(2歳児)では朝の水分補給の前に、全員が着席した状態で、毎日子どもたちの名前を呼んでいます。「はい!」と手を挙げて元気に返事をくれる子、手だけ挙げている子、ちらっと担任の先生の方を向いてすぐに視線をそらす子、聞こえてはいるけど反応しない子と様々です。また毎日同じ反応ではなく、元気な時は元気な返事が返ってきますが、まだちょっと気分がのらなかったり、体調が悪いときには声も小さくなっています。

そんな毎日のやりとりの中、担任が「今日はちょっと魔法をかけるよ。この魔法にかかるとお返事が「ワン!」って犬みたいになっちゃうの。いくよーちちんぷいぷいのぷい!犬になーれ!」と声を掛けると、少し戸惑う表情の子ども達。4歳児以上であればノリノリで返事をする子が多いのですが、2歳児クラスだといつもと違うことを急に言われると戸惑う様で、名前を呼ばれると「??はい!」といつもの返事をする子が半分でした。その中、張り切って「ワン!」と返事をする子もいて、「すごーい!」と担任達は大盛り上がり。その様子を見て”ワン!って返事してもいいんだ”と感じたのか、次の日は「ワン!」と返事できるようになったり、「猫になーれ!」と少し変えても「ニャー!」とすぐに返事ができるようになってきました。

今は「動物になーれ!」という、「プー!」とブタになったり、「ガオー」とライオンになったりと自分達で考えて返事をしています。中でも「きりん!」「ぞーう!」と動物の鳴き声ではなく、名前を張り切って言っている姿は何とも言えない可愛さがあります。クラス全体が「名前を呼ばれて、返事をする」ということに対して『何か楽しい時間』という雰囲気になってきたところ、今までずっとちらっと見ているだけだった子が、ゆっくり手を挙げるようになり、今までほとんど反応していなかった子が少し照れ笑いの表情になりながらも、元気に「がー!」と返事ができるようになりました。1歳児クラスの頃から呼び続けていましたが、初めて反応があり、胸の奥がぐっと暖かくなるような感動がありました。

たかが返事されど返事ですが、楽しみながらも自分を表現する大切な機会と捉えて色々なアプローチをしたいと思っています。